

449

0248

第四百八師團作戰記録

昭和二三、八、二〇、

復員局資料整理部

陸

四

1085

0249

本作戦記録ハ元第四百十八師團参謀

中佐丸岡茂雄記述
セルモノナリ

(高橋久基堂納)

1086

目次

第一 開戦前ノ狀況（作戦準備）

一 岡東軍作戦計畫ニ於ケル師團ノ任務

二 動員編成裝備

三 教育訓練

第二 開戦時ニ於ケル第百四十八師團ノ狀況

第三 作戦經過ノ概要

第四 終戦後ニ於ケル狀況

第五 作業大隊派遣ノ狀況

第六 總括的所見

附 雜所見

陸軍

陸軍

第六總括的所見

一隊長ト補佐官ト人事ニ就テ

師團長末光中將ト參謀長坂元大佐トノ配合ハ
人事適切ヲ欠キタルモノト認めラル

兩者ハ性格ノ相異上就任以來事毎ニ意見

衝突ニ遂ニ部下多數ノ知妻スル所トナリ去年ヒ

テハ統御上ニモ大ナル影響御目ヲ生スルニ至レリ

二日本民族ノ素質ニ就テ

今次大戦最終ノ時機ニ於テ日本民族ノ眞姿ハ
必スシモ優秀民族ナラサリシヲ痛感セリ

日本軍ノ精強ナル所以ハ訓練ノ結果ニシテ訓練ナ

キ日本軍一大戦末期ノ應召者ノ如キハ常人ニ外ナラ

ス即チ日本民族「堅キモ脆キ」感アリ

三ノ輩ノ特質ニ就キテ

一ノ輩ハ一部高級將校ヲ除キテハ一般ニ教養良

極メテ低劣ニシテ粗野、文化性ナキモ風土

ノ特質ト相俟ツテ耐忍力強靱、野戦軍ト

シテハ適當ナル素質ヲ有ス、例セハ我々入ソノ輸

送列車ニ於テ時恰モ十月下旬ノ極寒^期零下三四

度ノ折警備ニ使セシ歩哨ハ外套一枚ニテ貨車ノ

屋上ニ假眠シアル如キ或ハ彼等ノ給食良ニ極メテ

不良^時(俸給多クモ不良)ナルニ拘ラス行軍力ノ偉大

ナル如キ之レナリ)

二、終戦後ソ連將校ノ語ル所ニヨレハソ連ノ下士官兵ハ

日本軍ノ精強ヲ知ラサルモノ連將校「日本軍ノ

(高橋久是堂納)

陸軍

精強獨逸軍ノ精銳ナルヲ記ムト語レリ。

蓋シ現在ノソ連ト士官兵ハ從來日本軍ト戦キ

セシコト勘カリレニ依ルヘシ

ソソ軍ト言ハスソ連人ト全般ニ教理的觀念極メ

テ乏シ

但シ彼等ト一般ニ民族的偏見ナク單純ナリ

下級將校ノ能力ハ日本軍ノ下士官又ソソレ以

テナルヘシ

四日ノ民族政策ノ比較

ソソ連ノ民族政策ハ概テ成功ナリ是レ民族平等

等原則ノ徹底ニ起因スヘシ

ニ願テ日本民族ノ討伐對支ニ民族政策ハ相當

檢討ヲ要スルモノアリ即チ日本人ト徒ニ物心的

優劣性ヲ發起シ異民族ヲ瞥視シ採取シアリ

タル感アリ偉大ナルカ、如キ滿洲國ノ又發展ニ
 強權ノ存在アリシタナリ、倭ノ戰ト同時ニ鮮僑民
 復ノ北月叛ヲ想起シテ、愾ヒ半ニ過クルモ、アルニ

(高橋久基堂納)

附 雜所見

一 總軍ニ於テハ作戰、情報、政務ノ緊密化ニ就テ

ノ日ソ同戰時機ノ判断ニ於テ第一課(作戰)ト

身ニ課(情報)ト向ク意見、相異アリタリト聞ク

若シ果シテ然ラハ各課幕僚ハ虚心坦胸真

ニ人ノ意見見ク同クノ勇ムカラス

ニ日ソ同戰ニ於テ當時第四課長ノ不在ナリシ

タメ作戰、情報、政務ノ緊密化ヲ圖リ得サリ

シハ十載ノ恨事ト謂フ(シ)

同戰後在場邦人百數十ヲ犠牲ニシテ總

軍司令部ノ通化轉道ハ日本戰史上一大

汚臭ナリ

陸 軍

